

市長と語る会(上野西部地区住民自治協議会)

平成27年7月12日(日)午後2時～午後3時30分
上野西部地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
上野天神祭について	<p>先日、伊賀市補助金等適正化に関する指針の説明をいただいた。上野天神祭は400年前から続いている。町の宝物であり、活性化する起爆剤でもある。</p> <p>この祭りを行政はどう考えているのか。財政支援、人的支援等がある初めてやっていけるものである。このままでは、祭りはできないと言っている町もある。</p> <p>市として、どうしていったらいいかという指針、また、支援方法を示してほしい。</p> <p>困っているのは曳き手の食糧費、人件費だけではない。子どももない。自分たちの町の子どもの数がゼロというところもある。その中で、お囃子を継承していかなければならない。</p>	<p>皆さんの一番の心配は曳き手をどうするのか、費用弁済をどうするのかということだと思います。</p> <p>上野天神祭は神社と氏子の祭りです。お互いに支え合わないといけないというのが、まず第一。上野商工会議所が組織力を活かして、まちの活性化のために頑張ってもらわないといけないと思います。</p> <p>来年、世界無形文化遺産になるかどうかということで、伊賀の地域の宝になるわけですので、誇らしものであるとい共通の認識を持ってもらうことは大事なことです。</p> <p>また、利益を生むような活動も考えていただきたい。たとえば、いがぶら事業で、お囃子体験や、だんじりの曳き手体験等、お金を生む工夫をしてほしいと思います。</p> <p>行政としては、情報発信をしっかりさせていただきます。地域学習ということで、学校教育の中でお囃子を取り入れるのもいいと思います。</p> <p>今後の補助金は委員会に支出して、それぞれの町や団体に交付する方法もあると思います。</p>
	<p>曳き手は、氏子青年会と委託契約を結んで、役務協定をしてはどうか。SNSで物を売る、ユーチューブで動画を配信することも必要。上野文化美術保存会で公式なものを作る。使えるものを使わないと損である。</p>	<p>6月28日から30日までミラノ万博へ出展しました。会場では、忍者ショーも行いましたが、忍者の映像を流す合間には、天神祭の映像も流して、1万人の方に見ていただきました。</p>
	<p>行政として伊賀市を盛り上げる一つのツールとして使っていくという旗を掲げてほしい。</p> <p>地域振興補助金について、ユネスコの無形文化遺産に登録される上野天神祭が他のイベントと同列の扱いはおかしい。今後、上野天神祭をどう位置付けていくか改めて検討してほしい。</p>	<p>来年、世界遺産になることは、いいきっかけになります。皆さんも各方面へアピールを続けていただきたいと思います。</p> <p>市としては、コラボしてしっかりやっていきます。上野商工会議所には、協力の申し入れをしたいと思っています。</p>
観光施設の全館共通券について	<p>上野には、観光施設が6つほどあると思うが、共通券を作る予定はないのか。お城、芭蕉、忍者、3館共通はあるが、全館共通券はできないのか。</p>	<p>良い提案をいただきました。折に触れ話をしたいと思います。使う身になって考えることは大事だと思います。</p>

ミラノ万博出展について	ミラノ博覧会の結果、まちなかでどういう体制を作ってもらえるのか、教えてほしい。	経済効果を生むための良いチャンスが得られたと思います。来年はサミット、その次はオリンピックがあります。そのときに、泊まる場所、食べる場所、言語表示はできているのか、WiFiはあるのか、カード決済はできるのか、課題がたくさんあります。行政ができること、民間ができることをしっかりと、迎え入れなければいけないと思っています。
市街地の下水道整備について	今、台湾から多くの人来ている。一番困るのがトイレである。上野の町なか、コミュニティプラントを早くしないと受け入れ態勢が難しい。	人口のエリアを小さくした極小規模の単位の物が設置できないか研究しています。伊賀市排水処理計画の見直しの年度になっていますので、各自治協で説明会をさせていただきたいと考えています。
芭蕉の発信について	観光客が上野に来て、芭蕉の気も見ないと言っている。以前から芭蕉さんを商売に使うと言われていた。すごい文化遺産がなぜ、そういう状況にあるのか。芭蕉さんを、もっと開放して、自由に使えるようにしていただきたい。	芭蕉さんが生まれた伊賀上野で露出をもっと多くしないといけないと思います。ゆるキャラではありませんが、いろんなことに使ったらいいのでは。市では、非売品ですが、議会と共同で、手提げの袋を作っています。表は芭蕉さん、裏は忍者のデザインで、非常に人気があります。どんどん発信していかないといけないと思います。
線引きについて	線引き関係の手続きをいただいているようですが、市長の考えを教えてください。	高度成長の時代に、網をかけないと乱開発が起こると言って網をかけた時代があります。今は自分たちの工夫で最適な土地の利用、区域の指定をしていかないとけません。伊賀市にもいろんな行政財産があります。それを売ることは可能ですが、買った人が自由に使えない用途指定があります。線引きによらず、その場所の用途をどうするのか、地元の人と話し合っ、条例で進めていくことが良いと思っています。
市民センターのあり方について	市民センターの在り方について教えてください。	基本は、自分たちのまちは自分たちでつくる。自分たちのニーズに合ったものを行政とコラボして、作っていく形にしようということです。先進的なところと、そうでないところでは、温度差、熟度が違います。平成28年4月1日から一斉に自治センター化というのは無理だと思います。何のためにするのか踏まえたうえで、できることから、していくのがいいと思っています。